## 平成29年度 県立試験研究機関の研究テーマ外部評価

●研究テーマ外部評価結果一覧

12. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13						
開催日	評価の 種類	研究テーマ名	研究	期	間	評価
平成29年8月22日	事前	食の安全・安心確保のための研究 食品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査	平成30	~324	年度	Α
平成29年9月22日	事後	香川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関 する調査研究	平成26	~284	年度	Α
平成29年9月25日	事前	高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物等の付着 防止技術に係る研究	平成30	~324	年度	А
平成29年10月16日	事後	炭素繊維複合材料関連産業育成事業	平成26	~284	年度	Α
	事後	香川県産農産物の未利用部位に含まれる機能性成分の検索	平成	27年月	度	Α
平成29年10月5日	事前	DNAマーカー利用による育種技術の開発	平成30	~344	年度	Α
平成29年10月18日	事後	新規就農者が取り組みやすいレタス無マルチ栽培技術の確 立	平成26	~284	年度	Α
平成29年10月6日	事前	膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策	平成30	~32	年度	Α
平成29年10月30日	事前	受精卵移植における発情期膣粘液スコアチェックと0.5% ポビドンヨード子宮内注入の効果	平成30	~324	年度	Α
	事前	ICTを活用した黒毛和種繁殖牛の分娩予察システムの開発	平成30	~314	年度	Α
平成29年8月29日	事前	「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発	平成29	~314	年度	Α
平成29年8月30日	中間	燧灘におけるチリメン不漁要因の解明 (飼育試験による仔魚減耗要因および耳石の日輪形成時期 の解)	平成27	~304	年度	Α
	事後	赤潮発生現場環境を模したシャットネラの培養実験	平成26	~284	年度	Α
	開催日 平成29年8月22日 平成29年9月22日 平成29年9月25日 平成29年10月16日 平成29年10月5日 平成29年10月6日 平成29年10月6日 平成29年10月30日 平成29年10月30日	開催日       評価の 種類         平成29年8月22日       事前         平成29年9月25日       事前         平成29年10月16日       事後         平成29年10月5日       事前         平成29年10月18日       事後         平成29年10月3日       事前         平成29年10月30日       事前         平成29年8月30日       申前         平成29年8月30日       中間	開催日 評価の 種類 研究 テーマ名  平成29年8月22日 事前 食の安全・安心確保のための研究 食品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査  平成29年9月22日 事後 香川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関する調査研究  平成29年9月25日 事前 高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物等の付着防止技術に係る研究  平成29年10月16日 事後 炭素繊維複合材料関連産業育成事業  事後 香川県産農産物の未利用部位に含まれる機能性成分の検索  平成29年10月18日 事前 DNAマーカー利用による育種技術の開発  平成29年10月18日 事後 新規就農者が取り組みやすいレタス無マルチ栽培技術の確立  平成29年10月6日 事前 膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策  平成29年10月30日 事前 足精卵移植における発情期膣粘液スコアチェックと0.5% ポビドンヨード子宮内注入の効果  事前 ICTを活用した黒毛和種繁殖牛の分娩予察システムの開発  平成29年8月29日 事前 「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発  「選選におけるチリメン不漁要因の解明 (飼育試験による仔魚減耗要因および耳石の日輪形成時期の解)	開催日評価の 種類研究 テーマ名研究平成29年8月22日事前食の安全・安心確保のための研究 食品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査平成30・ 平成29年9月22日事後香川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関する調査研究平成26・ 平成26・ 平成29年9月25日事前高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物等の付着 防止技術に係る研究平成30・ 平成30・ 平成29年10月16日事後香川県産農産物の未利用部位に含まれる機能性成分の検索平成26・ 平成26・ 平成29年10月5日事前DNAマーカー利用による育種技術の開発平成30・ 平成30・ 平成29年10月18日事後新規就農者が取り組みやすいレタス無マルチ栽培技術の確立 立立平成26・ 平成20・ 平成29年10月6日事前膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策 ・平成30・ボビドンヨード子宮内注入の効果平成30・ ・ 平成30・ボビドンヨード子宮内注入の効果平成30・ ・ 平成30・ ・ ボビドンヨード子宮内注入の効果平成30・ ・ 平成30・ ・ 下成29年8月30日事前「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発 ・ 平成29・ ・ 平成29・ ・ 平成29年8月30日中間「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発 ・ 平成29・ ・ で成29・ ・ 中間 	開催日 評価の 種類 研究テーマ名 研究期 会の安全・安心確保のための研究 会品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査 平成30~32: 会品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査 平成30~32: 音川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関 平成26~28: 平成29年9月25日 事前 高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物等の付着 防止技術に係る研究 平成29年10月16日 事後 炭素繊維複合材料関連産業育成事業 平成26~28: 事後 香川県産農産物の未利用部位に含まれる機能性成分の検索 平成27年 平成29年10月5日 事前 DNAマーカー利用による育種技術の開発 平成30~34: 平成29年10月18日 事後 新規就農者が取り組みやすいレタス無マルチ栽培技術の確立 平成29年10月6日 事前 膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策 平成30~32: 平成29年10月30日 事前 ア成26~28: 平成29年10月30日 事前 ア成26~28: 平成29年10月30日 事前 「諸域における発情期膣粘液スコアチェックと0.5% 平成30~32: 平成29年10月30日 事前 「諸域とこまにおける発情期膣粘液スコアチェックと0.5% 平成30~32: 平成29年8月30日 「諸域と一もん」生産拡大に向けた技術開発 平成30~31: 平成29年8月30日 中間 (飼育試験による仔魚減耗要因および耳石の日輪形成時期 の解) 平成27~30: の解)	開催日評価の 種類研究テーマ名研究期間平成29年8月22日事前 食の安全・安心確保のための研究 食品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査 平成30~32年度平成29年9月22日事後 香川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関 する調査研究 平成29年9月25日事前 高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物等の付着 防止技術に係る研究 平成29年10月16日事後 炭素繊維複合材料関連産業育成事業 平成26~28年度平成29年10月16日事後 大素繊維複合材料関連産業育成事業 平成27年度平成29年10月5日事前 DNAマーカー利用による育種技術の開発 平成30~34年度平成29年10月18日事後 新規就農者が取り組みやすいレタス無マルチ栽培技術の確立 中成29年10月6日 事前 膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策 平成30~32年度平成29年10月30日事前 膣内留置型プロゲステロン製剤を用いた豚の繁殖向上対策 平成30~32年度平成29年10月30日事前 だドンヨード子宮内注入の効果 平成30~32年度平成29年8月30日事前 「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発 平成30~31年度平成29年8月29日事前 「讃岐さーもん」生産拡大に向けた技術開発 平成29~31年度平成29年8月30日中間 (飼育試験による仔魚減耗要因および耳石の日輪形成時期 中間20解) (飼育試験による仔魚減耗要因および耳石の日輪形成時期 中間20解)

## 【評価基準】

事前評価 A:計画のとおり研究を実施するのが適当 B:計画の内容を条件のとおり変更して実施するのが適当 C:実施する必要はない

中間評価 A:計画のとおり継続するのが適当 B:計画の内容を条件のとおり変更して継続するのが適当 C:研究を中止する

事後評価 A:研究の成果を活用する B:得られた成果をもとに引き続き研究を行う C:期待どおりの成果が得られていない

追跡評価 A:研究成果が十分活かされている B:成果の活用に一層の努力が必要である C:研究成果が期待どおり活用されていない

## ●研究テーマに関する問合せ先

O PIOUT TIENT OFFI CO			
研究機関名	氏名	役職	電話番号
環境保健研究センター	渡邉	次長	087-825-0400
産業技術センター	末澤	次長	087-881-3175
農業試験場	徳井	主席研究員	087-814-7312
畜産試験場	野崎	次長	087-898-1511
水産試験場・赤潮研究所	向井	副場長	087-843-6511